

紙カルテ電子ファイリング事例

紙カルテの電子化

導入の狙い

電子化済と新規に電子化するカルテを患者番号で検索

導入病院の情報

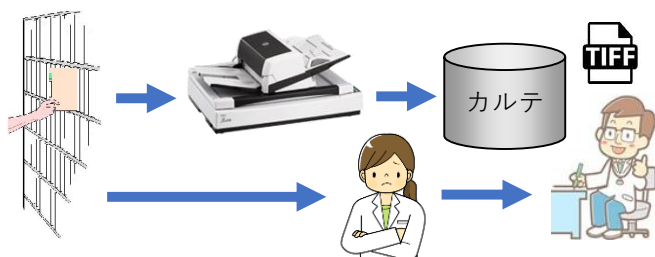
患者数：51,000人
診療科目数：7
病床数：120床
電子カルテ：未導入

医療法人財団病院

2017年11月導入



導入前の運用



- ◆ 過去カルテは、一定期間経過後にスキャナでスキャンしTIF形式でPCに保管。
- ◆ TIFファイル名は、カルテ番号をファイル名とし診療科目ごとのフォルダに格納。
- ◆ 医師の要請で過去カルテが必要となった場合は、カルテ庫から持ち出し。

導入前の課題

膨大な過去カルテを保管



- ◆ 過去の診療録が必要な場合、院内倉庫から持ち出すのに申請手続きが必要で時間を要する。
 - ◆ TIFを患者番号で検索する仕組みが無い場合、紙カルテも院内倉庫に保管。
- ↓
- ◆ 電子化済のカルテ(TIF)をPDFに変換し、カルテを検索できる仕組みを構築する。

顧客の要件

- ◆ 過去にスキャンしたTIFをPDFに変換する。
- ◆ カルテ番号、患者番号、患者氏名などでカルテを検索して閲覧できる事。
- ◆ カルテの新規登録は、スキャンした画像を画面に表示して検索キーが入力できる事。
- ◆ 操作は障害者雇用のため極力簡単な操作で行える事。

導入のポイント

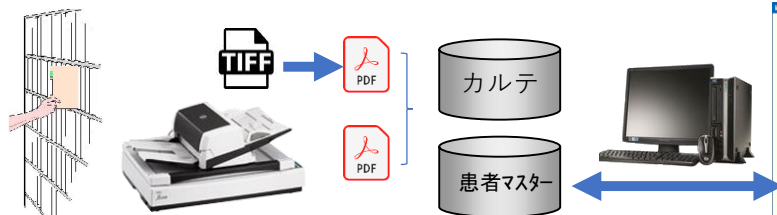
- ◆ カルテを電子化して保管し、医師が過去のカルテを容易に閲覧できるシステムを導入する。

導入後の運用

紙カルテを電子化して患者番号や入院カルテ番号等で検索

カルテの登録

電子化済カルテ(TIF)をPDFに変換



電子化したカルテは、受診した診療科ごとのフォルダに格納

カルテ登録画面

- ◆ 過去にスキャンしたTIFは、PDFに変換する。
- ◆ カルテの新規登録は、スキャンした画像を確認しながらカルテ番号と患者番号、診療科を入力して登録する。
- ◆ 患者番号を入力すると、患者マスターを参照して患者情報が登録画面に表示される。
- ◆ 電子化したカルテは、診療科ごとのフォルダにカルテ番号.pdfのファイル名で格納。

カルテの検索

カルテ番号や患者番号,患者氏名等でカルテを検索



検索用データベース



カルテ検索画面

カルテ表示

- ◆ 患者番号,氏名,カルテ番号,生年月日,診療科目等でカルテを検索。
- ◆ 検索結果は一覧表示され、一覧から閲覧したいカルテを選択。
- ◆ 選択されたカルテがAdobe Acrobat Readerで表示される。
- ◆ 利用部門は、医事課と全診療科医師約30名が対象。

導入後の効果

- ◆ 過去にスキャンしたカルテもカルテ番号や患者番号などで容易に検索できるようになった。
- ◆ 診療室で過去カルテが検索できるため、職員の負担が大幅に軽減できた。
- ◆ 医師が過去の病歴を容易に過去のカルテで確認できるようになり医師の負担も軽減できた。
- ◆ 新患を除く患者情報は既に登録済みの患者マスターを参照するため、入力作業が大幅に軽減でき登録者の登録作業の負担が軽減できた。

導入までの日数

導入したその日から運用が可能となった。

お問合せ先：下記のお問合せフォームからお問合せください。

<https://www.tssol.jp/contact/karute/>

開発元 株式会社豊里システムソリューション

〒112-0005 東京都文京区水道2-11-5

<http://www.tssol.jp>

